

令和5年度 決算のお知らせ

7月24日(水)に開催されました第182回組合会において、令和5年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

令和5年度 決算のポイント 保険給付費は増加したが、 拠出金の減少により黒字決算

決算概要

みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入は、総標準賞与額の減少により前年度より9,419万2千円減収の26億9,286万9千円となりました。

支出では、みなさんの医療費などにあてられる保険給付費は前年度より4,181万6千円増加し、14億6,384万5千円となりました。

高齢者の医療を支えるために支出する納付金については、前年度より8,488万5千円減少し、8億946万3千円の拠出となりました。内訳としては、前期高齢者納付金が5,636万7千円減少の1億2,645万3千円、後期高齢者支援金は2,851万7千円減少の6億8,300万9千円でした。みなさんの健康づくりをバックアップする保健事業費については事業内容の見直しを徹底し、大切な保険料の有効活用に努めた結果、2億5,899万5千円の支出となりました。

令和5年度は保険料収入が減少し、保険給付費が増加しましたが、拠出金全体の減少と繰越金で補うかたちとなりました。収支差引額は12億8,568万7千円の黒字、財政の健全性を示す経常収支差引額は1億157万9千円の黒字決算となりました。

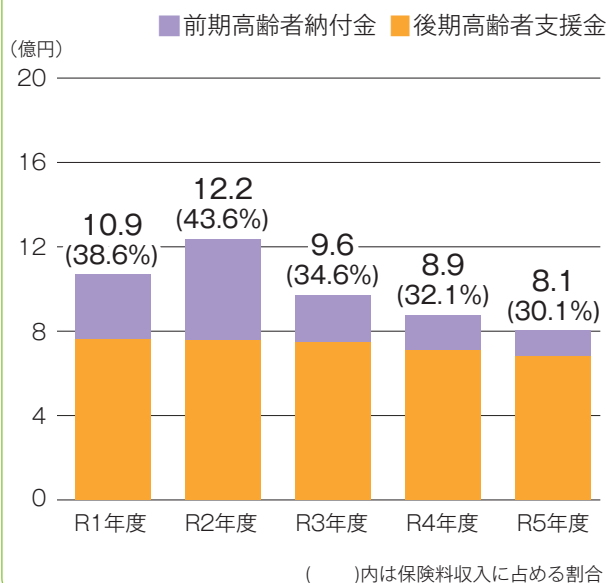
健康保険組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(以下健保連)が発表した「令和6年度健康保険組合予算編成状況—早期集計結果(概要)について—」によると、全体の経常収支は▲6578億円の赤字の見通しとなりました。

令和6年度の保険料収入は、標準報酬月額や標準賞与額が新型コロナウイルス感染拡大前に回復・改善、被保険者数の堅調な伸びと賃金引き上げの追い風・効果により増収が見込まれましたが、一方で、令和4、5年度と医療費の高い伸びが続いたことと、団塊の世代が75歳に到達する影響により高齢者拠出金が増加したことで、約9割の健保組合が経常収支で赤字、平均保険料率は過去最高となることがわかりました。

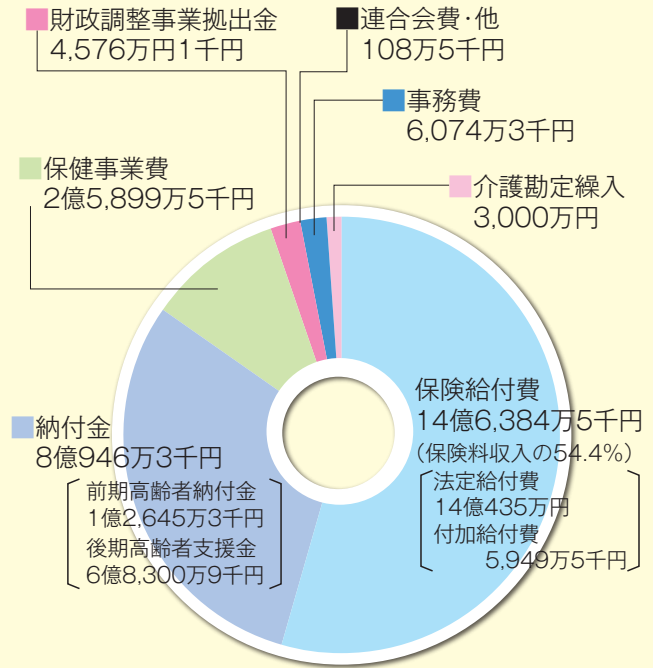
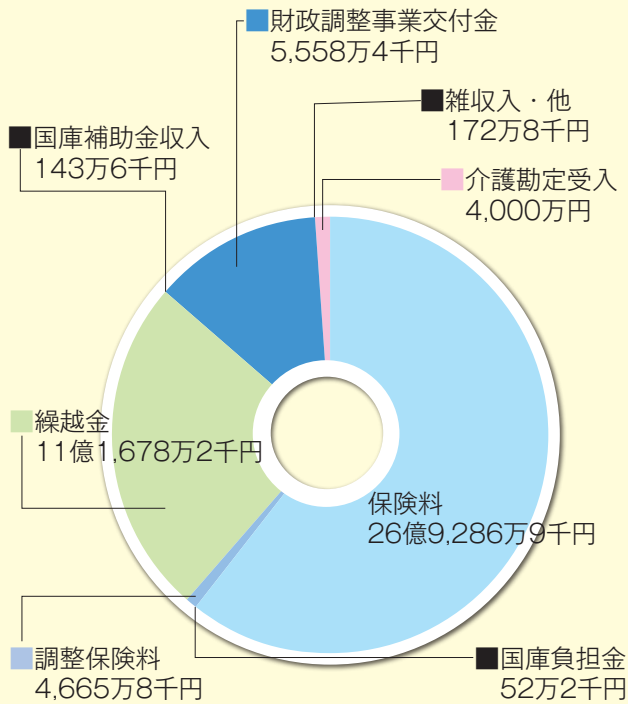
健康保険組合としましては、事業の効率化を図るとともに、みなさんの健康増進施策に力を注いでまいります。みなさんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康の維持・増進にお役立ていただくとともに、適正受診をこころがけ、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

当健康保険組合の納付金の推移



収入合計 39億5,557万9千円

支出合計 26億6,989万2千円



令和5年度 決算額

収入合計 39億5,557万9千円

支出合計 26億6,989万2千円

収入支出差引額 12億8,568万7千円

経常収支差引額 1億 157万9千円

健康 保険

決算基礎数値

被保険者数	3,869人 (男性 2,768人 女性 1,101人)
平均年齢	45.84歳 (男性 46.78歳 女性 43.47歳)
被扶養者数	4,534人
前期高齢者加入率	0.484429%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000 (事業主 51.00/1000 被保険者 32.00/1000)

介護 保険

決算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	2,771人
介護保険料率	20.00/1000 (事業主10.00/1000 被保険者10.00/1000)

決算の概要

(単位:千円)

	科目	決算額
収入	介護保険料	519,842
	繰越金	46,053
	一般勘定受入	30,000
	合計	595,895
支出	介護納付金	443,110
	一般勘定繰入	40,000
	合計	483,110